# 安全データシート **TX55**

# 項目1:化学品及び会社情報

# 1.1. 製品特定名

製品名 TX55

製品番号 TX55

# 1.2. 化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 coating

勧告用途 特定の勧告用途は確認されていない。

# 1.3. 安全データシートの供給者の詳細

供給者

**ITW Performance Polymers** 

Bay 150

Shannon Industrial Estate

Co. Clare Ireland V14 DF82 353(61)771500 353(61)471285 mail@itwpp.com

# 1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 +44(0)1235 239 670 (24h)

# 項目2:危険有害性の要約

# 2.1. 化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 区分外 区分外

環境有害性 区分外

健康有害性 健康危険有害性についての追加情報はセクション11を参照。

2.2. ラベル要素

健康有害性

危険有害性情報 NC 区分外

# 2.3. 他の危険有害性

この製品はPBTまたはvPvBに分類される物質を一切含まない。

# 項目3:組成及び成分情報

# 項目4:応急措置

# 4.1. 応急措置の説明

**一般情報** 事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察をうける(できればラベルを

見せる)。

**吸入** 直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移すこと。 呼吸が呈している場合には人工呼吸を行うこ

と。 呼吸が困難な場合には、酸素が必要な場合もある。 喉の刺激または咳が続く場合には、 以下の通りに処置すること。 医師の手当てを受けること。 医療関係者にこの安全データシー

トを見せること。

経口摂取 被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。 無理に吐かせないこと。 医師の

手当てを受けること。 無理に吐かせないこと。 口を水で十分にすすぐこと。 小さなコップ 数杯分の水または牛乳を飲ませること。 被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはな

らない。

**皮膚接触** 直ちに汚染された衣類を取り除き皮膚を石鹸と水で洗うこと。 洗った後も刺激が続く場合に

は医師の手当てを受けること。

**眼接触** コンタクトレンズがあれば取り外し瞼を大きく広げること。 少なくとも15分間洗い続けた後

に医師の手当てを受けること。

#### 4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報 記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。

### 4.3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 特定の推奨事項はない。 懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。

### 項目5:火災時の措置

#### 5.1. 消火剤

**適切な消火剤** 以下の消火剤を使用して消火すること: 水スプレー。 泡消火剤。 二酸化炭素(CO2)。

# 5.2. 化学品から生じる特定の危険有害性

**特有の危険有害性** 火災ガスまたは蒸気の吸入を避けること。

# 5.3. 消火を行う者の保護

消火活動中の保護措置 風上に向かいヒュームを避ける。 封じ込めにより流去水を管理して下水道および水路に流入

させないようにすること。

消火を行う者を保護するため 陽圧自給式呼吸器(SCBA)および適切な保護衣を着用すること。

の特別な保護具

#### 項目6:漏出時の措置

#### 6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

**人体に対する注意事項** 適切に換気すること。 この安全データシートのセクション8に記載の防護衣を着用すること

。 流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。

# 6.2. 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 あらゆる環境汚染の発生を防止または最小限に抑えること。 排水管または水路あるいは地表

へ放出しないこと。

# 6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

**浄化方法** 必要に応じて、手袋、ゴーグル/保護面、呼吸マスク、長靴、保護衣またはエプロンを含む、

適切な保護具を着用すること。 バーミキュライト、乾燥砂または土に吸収させて容器に回収

すること。

### 6.4. 他の項目の参照

他の項目の参照 この安全データシートのセクション8に記載の防護衣を着用すること。

#### 項目7:取扱い及び保管上の注意

#### 7.1. 安全な取扱のための予防措置

使用上の予防措置 適切に換気すること。 流出を避けること。 皮膚および眼との接触を避ける。 優良個人衛生

手順を実行しなければならない。 製品使用中は、飲食及び喫煙を避ける。 蒸気の吸入を避け

ること。

#### 7.2. 混蝕禁止物質を含む、安全な保管条件

保管上の予防措置 密閉した、元の容器に入れて乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。

7.3. 特定最終用途

特定最終用途 この製品の意図された使用はセクション1で詳しく述べられている。

#### 項目8:ばく露防止及び保護措置

成分に関する注釈 成分に対する暴露限界値は知られていない。

#### 8.2. ばく露防止

#### 保護具









適切な設備対策 適切に換気すること。

**眼/顔面の保護** リスク評価により眼に接触する可能性が指摘された場合には適切な規格に適合した保護眼鏡

を着用しなければならない。 リスク評価によりより高度な保護の必要性が指摘された場合を

除き、以下の保護具を着用しなければならない: 顔面に密着する安全眼鏡。

**手の保護** リスク評価により皮膚接触の可能性が指摘された場合には承認された規格に適合した耐薬品

性の、不浸透性手袋を着用しなければならない。

**衛生措置** 汚染された衣服は再使用前に洗う。 接触後に手を洗う。 各作業シフトの終了後および飲食、

喫煙およびトイレの使用前に洗うこと。 取扱中は飲食禁止および禁煙。

**呼吸器の保護** 換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を必ず着用すること。

# 項目9:物理的及び化学的性質

# 9.1. 物理的及び化学的性質に関する情報

**外観** 液体。

色 琥珀色。

臭い塗料。

初留点及び沸騰範囲 >100°C @

**引火点** >149°C

相対密度 1.1 @ 20°C

溶解度水可溶性。

分子量 1226.7824

# 項目10:安定性及び反応性

**反応性** 強酸化剤。

安定性標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。

**危険有害性反応危険性** 情報は要求されていない。

**避けるべき条件** 強酸化剤との接触を避けること。

混触危険物質 強酸化剤。

**危険有害な分解生成物** 熱劣化または燃焼により、酸化炭素及び他の毒性ガスまたは蒸気を放出することがある。 炭

素酸化物。

#### 項目11:有害性情報

# 11.1. 有害性情報

皮膚接触 わずかに刺激性。

**眼接触** 眼刺激を引き起こすおそれがある。

急性及び慢性健康危険 わずかに刺激性。

#### 項目12:環境影響情報

**生態毒性** この製品の生態毒性についてのデータは無い。

**毒性** 魚に対する毒性は考えられない。

12.2. 残留性・分解性

残留性・分解性 この製品の分解性についてのデータは無い。

12.3. 生体蓄積性

**生体蓄積性** 生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

12.4. 土壌中の移動性

移動性 環境中に放出しないこと。

12.6. 他の有害影響

他の有害影響 データ無し。

# 項目13:廃棄上の注意

# 13.1. 廃棄上の注意

**一般情報** 廃棄物を取り扱う際には、製品の取り扱いに適用される安全措置を考慮しなければならない

0

**廃棄方法** 現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄するこ

と。

**廃棄物クラス** 08 04 99

#### 項目14:輸送上の注意

一般事項 製品は危険物の輸送に関する国際規則(IMDG、IATA、道路輸送/鉄道輸送)の適用範囲に含

まれない。

#### 14.1. 国連番号

情報は要求されていない。

# 14.2. 品名(国連輸送名)

情報は要求されていない。

# 14.3. 国連分類(輸送における危険有害性クラス)

情報は要求されていない。

#### 14.4. 容器等級

情報は要求されていない。

# 14.5. 海洋汚染物質

### 環境有害物質 / 海洋污染物質

該当せず。

# 14.6. 使用者のための特別予防措置

情報は要求されていない。

MARPOL73/78 附属書II及び 情報は要求されていない。

IBCコードによるばら積み輸

送

項目15:適用法令

# 項目16:その他の情報

改訂日付 2018/04/04

改訂版 7

破棄日付 2016/09/06

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明を行うものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。